

カネカ、インドネシアに加工油脂の新工場

Edited By LogisticsToday On 2019/01/08



国内シェア
NO.1

日本と同じ在庫管理クオリティを実現！
クラウド

東南アジアでも使えるWMS

現地の言語・日本語・英語でサポート対応可能

 ロジサードZERO [詳しくはこちら >](#)

カネカは8日、三菱商事とのインドネシア合弁会社「カネカフーズインドネシア」(カラワン県)が50億円規模の加工油脂製品の新工場を建設する、と発表した。市場拡大が続く同国で製菓・製パン素材の事業拡大を目指す。

新工場を建設することで、フィリング製品、マーガリンなどを中心に生産能力を5倍の年産1万5000トンへ引き上げる。工場は昨年12月に着工し、2020年春の稼働を見込む。

人口増加とこれに伴う中間・高所得層の増加を背景に製菓・製パン市場が拡大し、特にインドネシアはパン消費量が年平均5%のペースで増加するなど、「日本のパン食文化」が広がっていることから、マーガリンなどの新製品の開発、拡販、パン・菓子などの商品提案、顧客の製造サポートといったソリューション提供を強化し、売上100億円の早期実現を目指すとしている。



▲新工場完成予想図

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/334027>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.